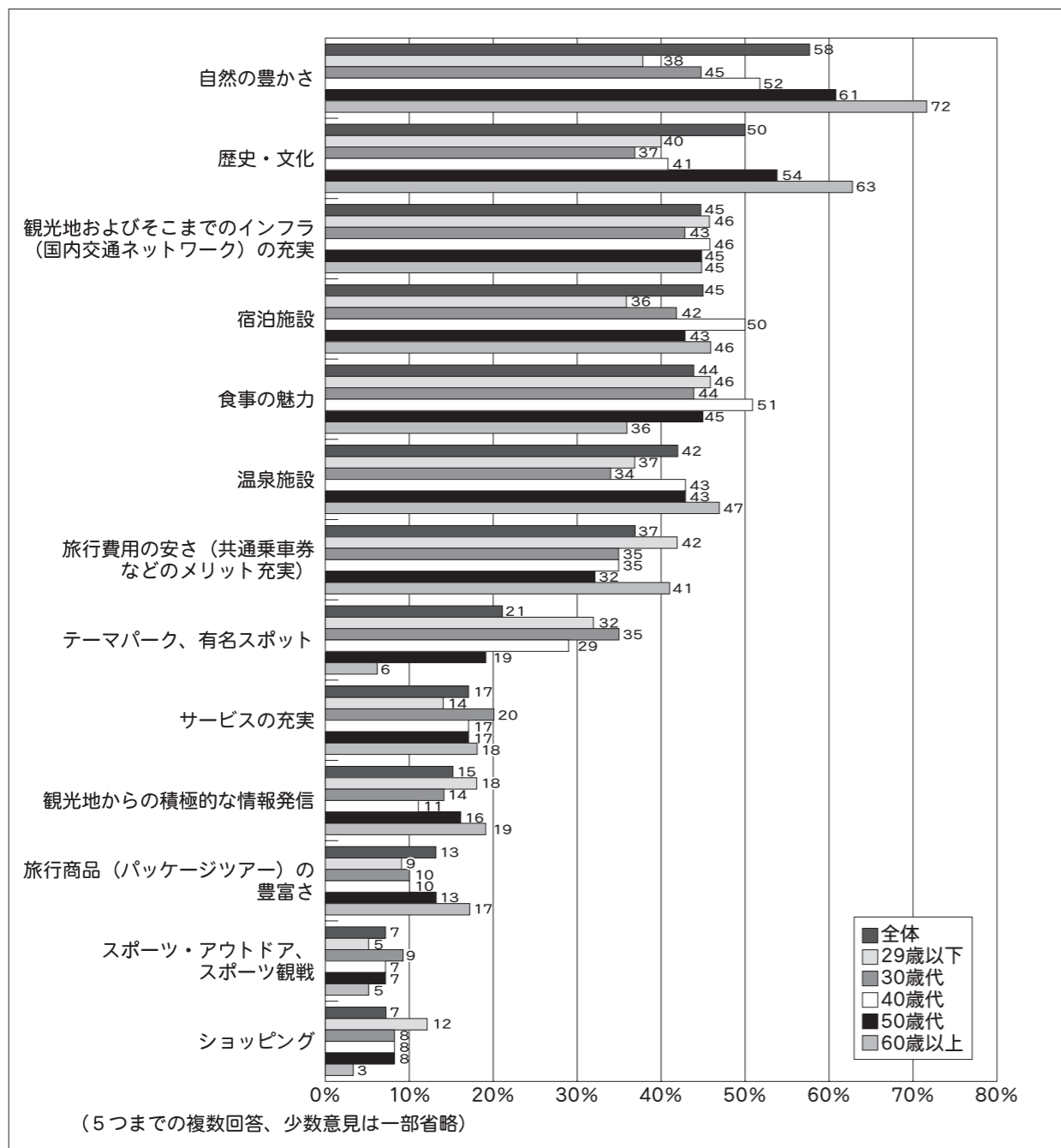


国内観光地を選ぶ決め手

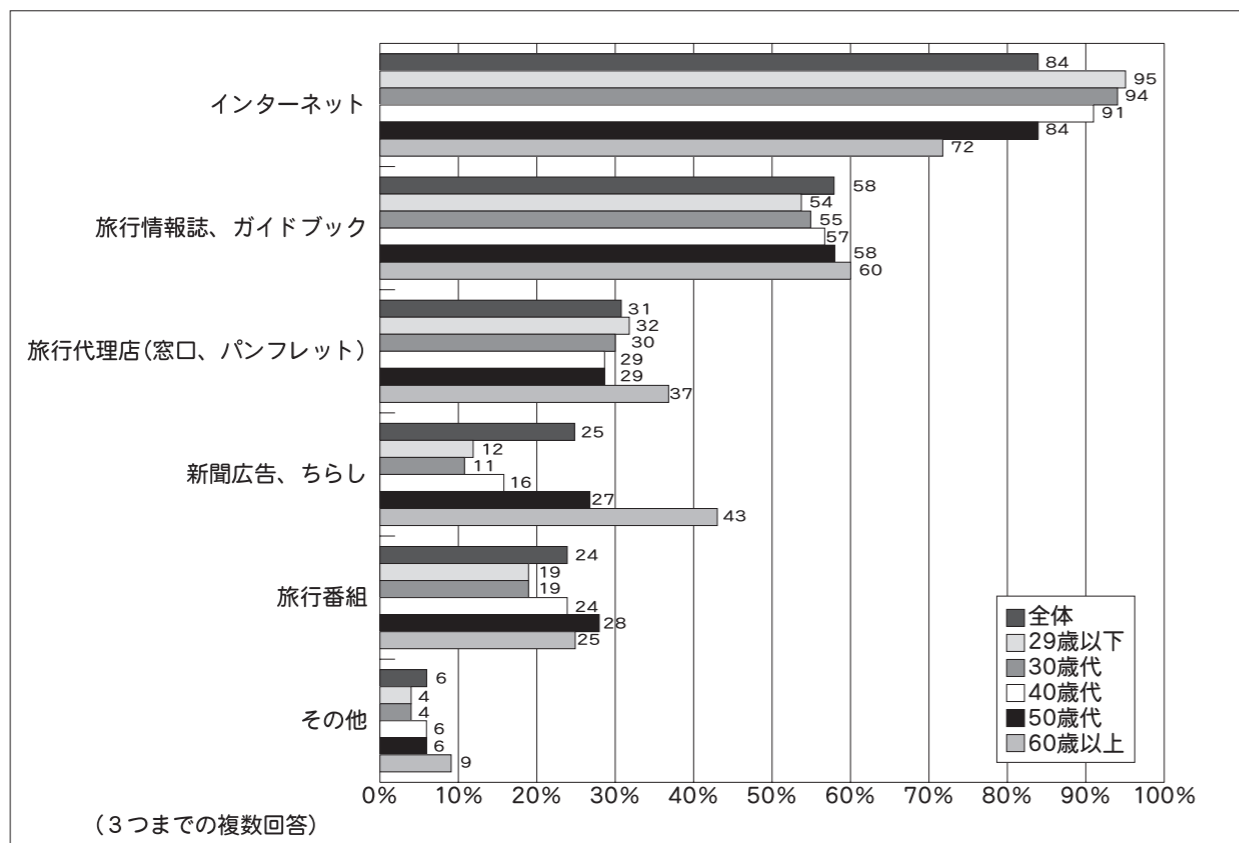
「自然の豊かさ」が第1位

経済広報センター
調べ

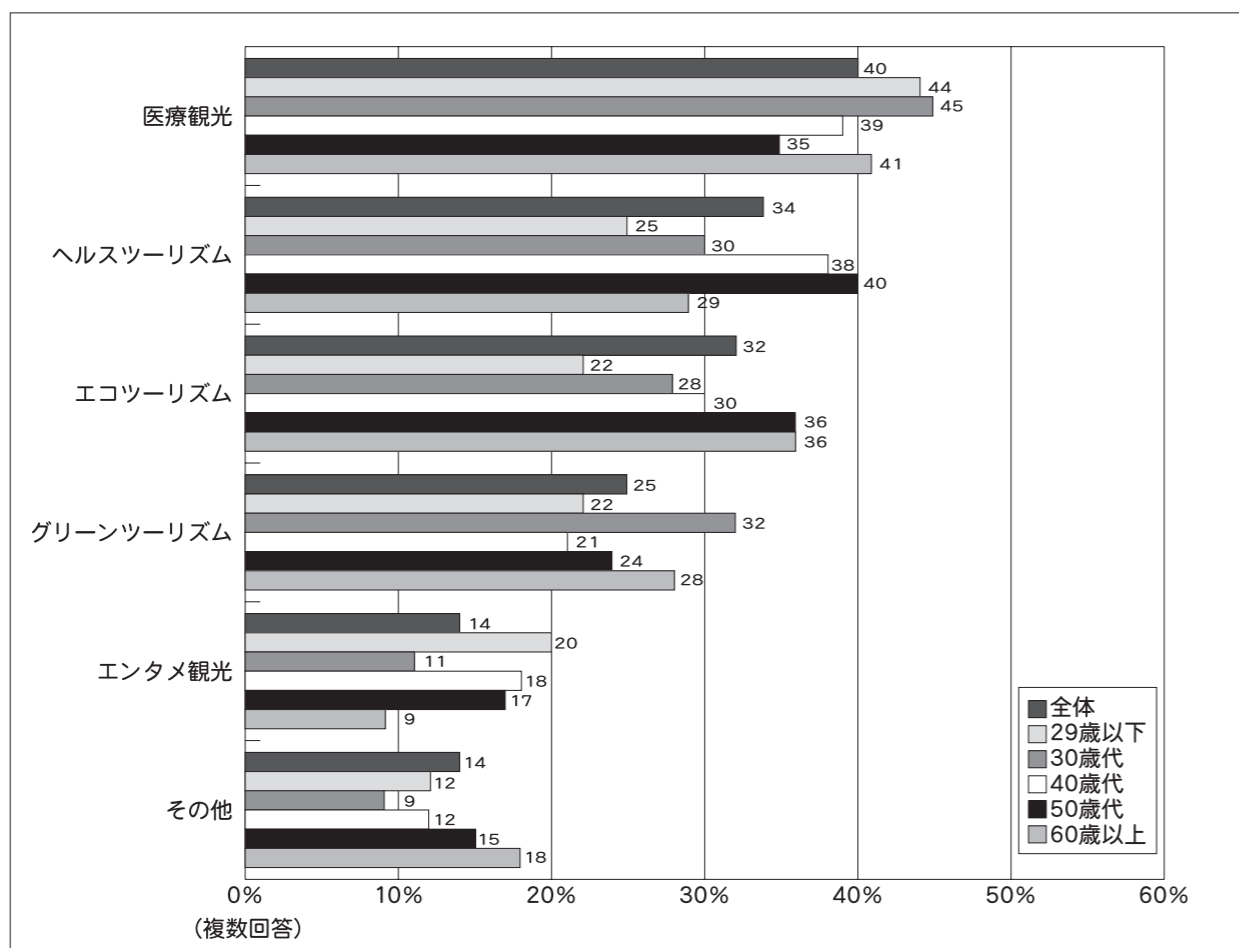
国内観光地を選ぶ決め手



国内旅行に関する情報入手源



今後してみたいニューツーリズム

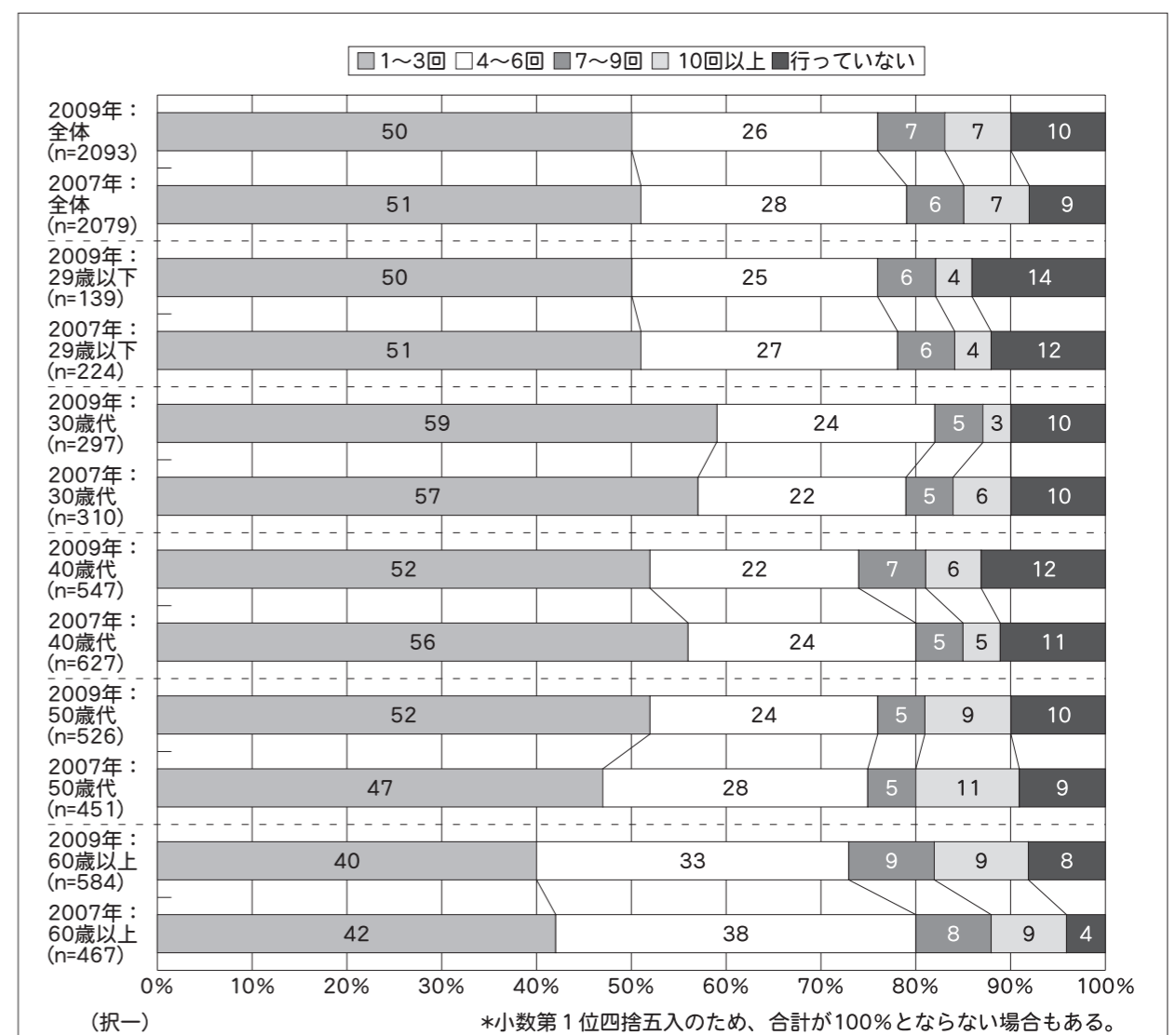


経済広報センターが実施した「観光に関する意識実態調査」によると、国内観光旅行で観光地を選ぶ決め手は「自然の豊かさ」が58%でトップだった。以下「歴史・文化」が50%、「観光地およびそこまでのインフラ(国内交通ネットワーク)の充実」が45%、「宿泊施設」が45%、「食事の魅力」が44%で続く。07年12月に行った調査「地域の活性化と観光に関する意識実態調査」と比較すると、「宿泊施設」「食事の魅力」を決め手とする回答が減少。一方「温泉施設」を決め手とする回答が4倍、それ以外の回答が減少。一方交通インフラの充実が5割増加した。

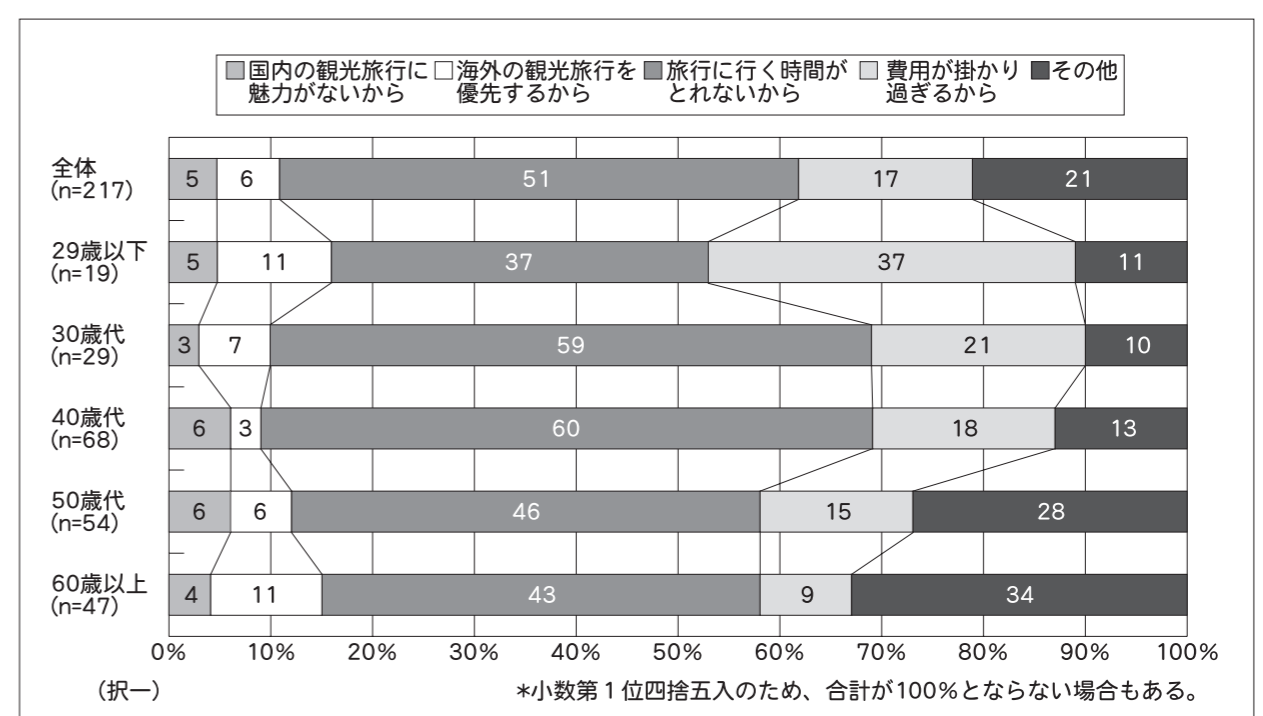
年間の国内観光旅行の回数は、29歳以下から50歳代までは「1〜3回」がいずれも50%以上。年代が上がるにつれ、「4〜6回」「7〜9回」「10回以上」の回答の合計が増加した。国内観光旅行に行っていないと答えた人の理由としては、50%以上が「旅行に行く時間が取れないから」と回答した。

調査は9月16〜27日にインターネットで実施。2093人から得た有効回答を基に分析した。

国内観光旅行の回数(07年調査と比較)



国内観光旅行に行っていない理由



観光旅行をする目的

